

第7回 国際平和・人権連続セミナー ～平和の諸相を見る～
『世界平和と諸民族の友好をめざす
沿海州国立アルセニエフ博物館の活動について』
—沿海州地方での日本人捕虜の生活に関して—

聴講無料

日時：1月13日(金) 16:30～18:00

会場：立命館大学国際平和ミュージアム会議室

講師：ヴィクトル・アレクセーヴィッチ・シャライ氏
(ロシア 沿海州国立アルセニエフ博物館館長)

言語：ロシア語〔通訳〕田中雄三氏(龍谷大学名誉教授)

- *日本語での通訳があります。
- *講演会当日、直接会場にお越しください。
- *駐車場はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。



【講師略歴】

1981年生まれ
極東国立大学歴史学部を卒業
2002～05年 アルセニエフ博物館展示センター責任者
沿海州にかかわる国内外の展示企画に従事
2008年 アルセニエフ博物館 企画担当副館長
2011年 V.K.アルセニエフ記念沿海州国立博物館長

【ロシア連邦沿海州国立アルセニエフ総合博物館の概要】

極東・シベリア地域における最も古い博物館である。1884年アムール地方地理学研究協会の博物館として創設され、1890年市民に開放された。1925年ソビエト政府により国立ウラジオストク州博物館とされ、1939年沿海州郷土誌博物館となった。1945年、有名な探検家V.K.アルセニエフの名前がソ連政府によって冠せられ、1985年、現在の名称である国立沿海州アルセニエフ総合博物館となった。

現在、職員百数十名、うち学芸員・研究者数十名。ウラジオストクの本部のほか、5つの支部を沿海州に有する国立総合博物館である。

主催：立命館大学国際平和ミュージアム
協力：日本ユーラシア協会

連絡先：立命館大学国際平和ミュージアム
TEL:075-465-8151